

天板が窓枠カウンターを兼ねるトイレ手洗いの製作について

手洗いの天板はボウルと共に人工大理石であり、窓枠カウンターを兼ねているため、カウンターを先行して取り付けの必要がありました。それに伴いキャビネットの背板はボウル部を切り欠きし、天板セット後にその下に収めます。そして、人工の天板とサッシ枠の接合は樹脂性プラグを利用して固定しました。

仕様

天板：人工大理石 ABC 商会Iコ^oリ^o (カメオホワイト近似色)

ボウル：デュポンコーリヤン 8 4 2 CW

水栓：CERA CEM001 単水栓

扉、外装：ウレタン塗装艶消し、取っ手：テーパー

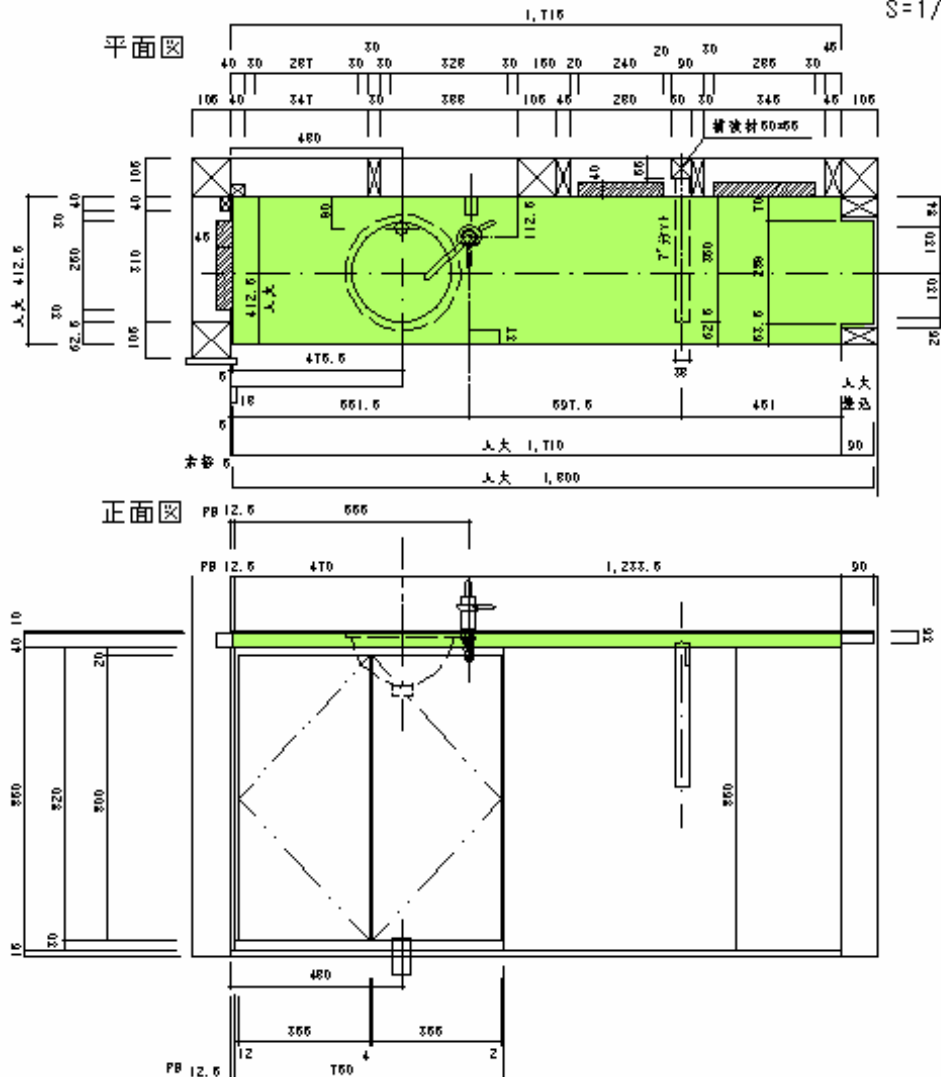
色：日塗工 2 5 - 9 0 A

内装：ポリ 5414

斜線部：壁呑みこみ

6月10日 確定図 1F トイレ手洗い

S=1/12



仕様

天板：人工大理石 Iコ^oリ^o 和仕 (カメオホワイト)

ボウル：コーリヤン 842CW

水栓：単水栓付 CEM001

扉、外装：ウレタン塗装艶消し

取っ手

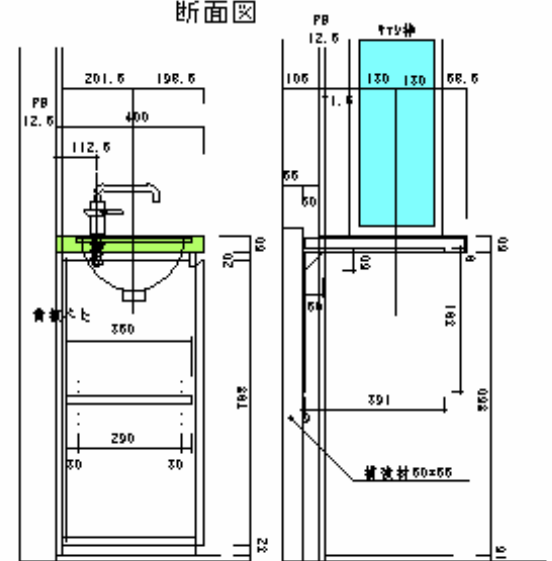
日塗工 25-90A

佐野様親子世帯洗面色

内装：ポリ5414

斜線部：壁呑み込み合板

断面図



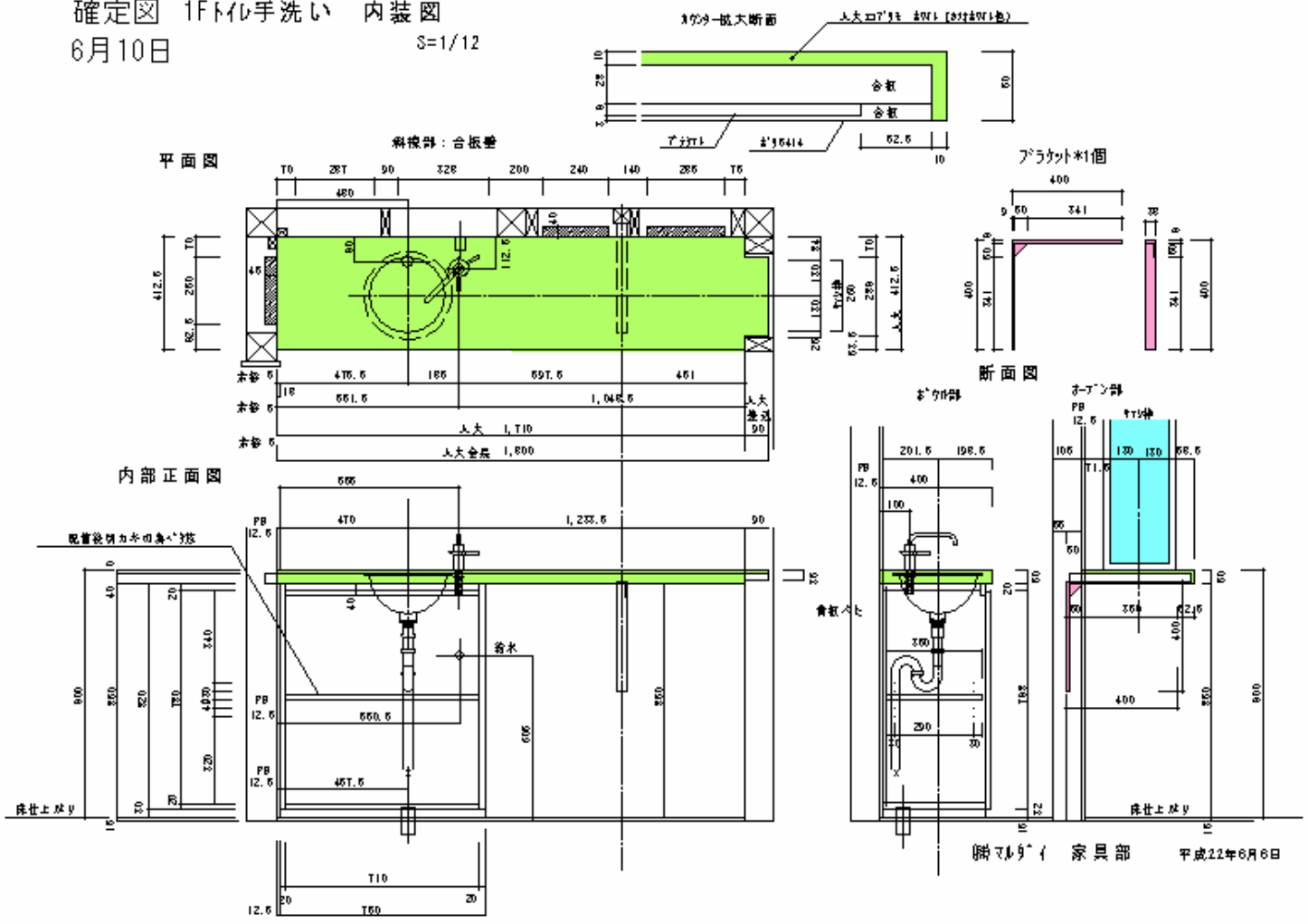
株式会社 家具部

平成22年6月10日

確定図 1Fトイレ手洗い 内装図

6月10日

S=1/12



ここに人大天板が差し込まれます。

人大天板のサッシ枠の固定方法



人大部 t10 のみプラグ用の穴をあけて
プラグを打ち込みます。

プラグを t10 のみ打ち込み、飛び出ている部分は
カッター等でカットします。



天板をサッシ枠に差し込んで
専用ビスにて固定します。

こんな方法で、人大の浴室の窓用
カウンターも固定しています。





人大天板に人大ボウルの固定は人大加工工場にて、この溝にポリウレタンを流し込んで強度を確保します。

人大下に箱がつかない箇所の天板補強ブラケットです。天板部はザグリ。ブラケットに小さめの三角リブを付け壁内に収まります。



天板の人大下地合板は壁に呑み込みます。

天板固定状況です。





排水管セット後、棚板の切り込み加工をいたします。



扉はテーパー取っ手
外装は白のウレタン艶消し
日塗工 25-90A
塗り仕上げはメラミン、ポリにない
落ち着きがあります。

ちょっとしたことですが、天板を窓枠と一体化することでスッキリとしました。
もちろん、それに伴い、色々な段取りが変わり、手間も増えますが、これがデザイナーのこだわりです。

(株)マルダイ 家具部 Da・Monde 鈴木
平成 22 年 9 月 13 日